

池袋警察署、池袋交通安全協会と三者で協働 事故防止を目的とした交通安全啓蒙ラッピングバスの運行を開始

国際興業株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：黒滝寛）は、池袋警察署・池袋交通安全協会と協働で事故防止を目的とした交通安全啓蒙ラッピングバスを制作し、池袋を中心としたエリアで3月21日（金）より運行を開始しました。また、関連した取組みとして、池袋営業所の路線バス約50台の車内にオリジナルステッカーを掲出し、車内マナーについて広く呼びかけています。



三者で協働制作した交通安全啓蒙ラッピングバス



車内ステッカー

■制作に至った経緯

乗合バス事業者にとって、車内での転倒事故防止は大きな課題であり、当社も自治会や高齢者集会への出張講習やお客様へ啓蒙品を配布する等、様々な活動を行っています。今回、乗合バス事業者にとって重要な輸送の安全確保の一つである「車内事故の防止」と、警察の使命である「交通事故の防止」を図る理念が一致したことから、三者協働で、交通安全に対する意識の向上を目的とした取り組みを行うことが決まりました。

ラッピングバスは、バスをご利用されるお客様や地域の方々へ、交通安全の大切さを広くアピールできることを期待し制作しました。

■ラッピングバスについて

池袋警察署のマスコットキャラクター「フク太郎」と「イケ子」を用いた、安全の呼びかけが一目で分かりやすいデザインとし、各団体の女性メンバーによるプロジェクトチームがデザインを監修したことにより、柔らかさや親しみやすさを取り入れた、幅広い層へ受け入れられるラッピングを当社池袋営業所の車両（1台）に施しました。

また、車いすやベビーカーをご利用のお客様にも安心してご乗車いただきたいという思いから、同営業所の路線バス車両約50台にステッカーを掲出しました。



打ち合わせの様子

■「池袋交通安全のつどい」テープカット・パレードの様子

3月20日(木)に開催された、池袋警察署と池袋交通安全協会主催の「池袋交通安全のつどい」において、ラッピングバスの完成報告と安全運行を祈願して、三者の代表によるテープカットが執り行われました。また、警視庁の音楽隊、騎馬隊と共にパレードに参加し、多くの方へラッピングバスのお披露目をする事が出来ました。

今後も「安全の確保」に向け、三者間の連携を強化して参ります。



池袋駅東口で開催された三者代表によるテープカット



池袋駅東口から東池袋交差点まで行われたパレードの様子